

令和2年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 自己評価書

校長 鈴木 康弘 印

1 学校経営全体計画の本年度の努力点について

- (1) 確かな学力づくりと健やかな体づくり
- (2) 全教職員の心をつなにする校内研修、OJTを通しての人材づくり
- (3) 人と組織が生き生きと動く活力に満ちた学校づくり
- (4) 潤いのある環境づくりと豊かな心の育成
- (5) 地域に信頼され誇りとされる魅力ある学校づくり
- (6) 教職員の働き方改革の推進

2 評価結果について（成果：○ 課題：●）

- (1) ○児童の自己評価では、昨年度より肯定的な評価（とてもできている・できている）が多くなっている。「進んで学習している」97%（前年度より+1.6%）、「友達と仲良く協力している」95.9%（前年度より+1.1%）、「体育など進んで運動している」95.9%（前年度より+3.3%）、「挨拶をしている」93.1%（前年度より+3%）、「健康で安全な生活を送っている」90.3%（前年度より+3.2%）と、なっている。児童の自己評価では、学習・運動・友達関係・挨拶・安全な生活という観点では、良い結果となっている。「困ったときに相談できる先生がいる」96.3%（前年度より-0.8%）では、前年度よりマイナスにはなっているが、高い水準を維持しているので、むしろ良い状況を維持していると言える。
 - 児童の自己評価の「進んで本を読んでいる」82.5%（前年度より-7.7%）では、コロナウイルス感染防止のため年度初めに2か月の臨時休校があったことが影響したと考えられる。
- (2) ○保護者の評価では、昨年度より肯定的な評価（とてもできている・できている）が多くなっているのは、「学習」92.7%（前年度より+11.3%）と「運動」87.3%（前年度より+4.8%）についてである。コロナウイルス感染症防止のため臨時休校等が多くあったが、学習と運動の指導については、評価が大変高かった。
 - 保護者の評価では、昨年度より肯定的な評価（とてもできている・できている）が減っているのは、数値は小さいが「友達」、「挨拶」、「教育環境」、「トラブル対応」、「読書」と項目が多い。今年度からアンケートの質問文に「学校は」という文言を付け加えたために、昨年度より善し悪しの違いが明確になったことが原因だと考えられる。また、教育環境とトラブル対応については、2学期の初めに3学年分のエアコンが突然故障し、学校はすぐに替わりのスポットクーラーを各クラスに配備するなど迅速に対応した。結果としては、修理までに1週間程度の時間がかかってしまい、悪いイメージでついてしまったことが影響したと考えられる。10月の末から学校では挨拶の指導を行い、家庭にも協力をお願いし、交通指導員・防犯ボランティアの方から「挨拶がとてもよくなり、やりがいを持てるようになってよかった」等の声を複数いただいている。
- (3) ○教職員の学校評価では、全体的には肯定的な評価が多かった。
 - 課題が25%を超えたのは、学校課題研究・働き方改革・清掃活動・言語環境である。それぞれ細かい分析を行い、来年度の指導に生かしていく。一人当たりの毎月の時間外勤務の平均時間は、コロナウイルス感染症防止の影響もあるが、昨年度より約15時間減っている。
- (4) ○本年度も学校長の「学校経営全体計画」に基づき、全教職員がそれぞれの立場から力を発揮し学校評価は、全体としてはおおむね高評価を得られたと言える。
 - 来年度に向けては、今年度に数値の下がったところを分析し、来年度の指導計画をどれだけ改善できるのかということにかかっている。

